

令和元年度 第2回健康増進計画策定委員会

日 時：令和2年2月26日（水）13:30～15:00

場 所：総合センター5階 第4会議室

出席者：新井美佐子、江崎明子、砂田桂子、武内尚博、所俊彦、名和めぐみ、林春代、
森清一

欠席者：植屋節子、高田麻紀、棚瀬友啓、林孝美、吉村隆子

1 あいさつ

（事務局）

本日は「第2回健康増進計画策定委員会」にお集まりいただき、誠にありがとうございます。開会に先だち、健康推進課長よりごあいさつをお願いします。

（健康増進課長）

本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本来でしたら、ここで市長と健康福祉部長がごあいさつをすべきなのですが、本日は議会に出席のため欠席をさせていただいております。委嘱状も市長よりお渡しすべきなのですが机上に配布させていただきました。これから2年間お世話になりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

このところ、新型コロナウイルスの感染が拡大しています。瑞穂市として特に何か対策を講じているという訳ではありませんが、市民に厚生労働省等からの正しい情報をお知らせし、感染予防に繋がる適切な行動をとっていただけるように、広く周知を行っています。マスクや消毒用エタノールが品切れで入手できないという状況も考慮し、石鹸による丁寧な手洗いの推進、風邪症状のある人はエチケットとしてマスク着用をお願いしたいと思っています。昨日の会議では、「風邪症状があり熱があったら外出はせず自宅待機をお願いをする」という方向で決定しました。新型コロナウイルスは、特に生活習慣病等の基礎疾患がある人や高齢者は重症化しやすいという統計が見えてきています。

本日、お手元にあるアンケート調査（小中学生のかた用・16歳以上の市民のかた用）は、アンケート調査を事前に委員の皆さまに送付し、委員の皆さまよりいただいた意見を担当が吟味して再構成をかけたものになります。委員の皆さまには、非常に時間が短いなかで、お目通しをしてご意見をいただいたことを、この場を借りて御礼を申し上げます。このアンケート調査は「市民のための実態把握のための意識アンケート調査」ということも考慮していただき、十分なお検討をいただければと思っています。本日は慎重な審議をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2 委任状交付

(事務局)

資料の確認をします。次第、委員名簿、アンケート調査票（小中学生のかた用・16歳以上の市民のかた用）がお手元にあるかご確認をお願いします。

本健康増進計画策定委員会は、瑞穂市の設置条例に基づき設置させていただいています。委員定数は15名以内で任期は2年となっています。本日の欠席者は植屋委員、高田委員、棚瀬委員、林委員、吉村委員の5名より欠席の連絡をいただきました。会議の開催にあたり委員13名中8名の出席であり、委員の過半数以上の出席をいただいているので、本策定委員会は成立することを報告いたします。

3 会長及び副会長の互選について

(事務局)

任期が新たになりましたので、会長及び副会長の互選を行います。委員の皆さまよりご意見はありませんか。

(森委員)

事務局に一任します。

(事務局)

それでは事務局で一任させていただきます。これまで本策定委員会では、会長はもとす医師会、副会長にもとす歯科医師会にお願いしてきたという経緯があります。よって今回も、会長にはもとす医師会の所俊彦様に、副会長にはもとす歯科医師会の武内尚博様をお願いしたいと思います。委員の皆さまはいかが思いますか。

<委員一同拍手>

(事務局)

それでは、会長に所様、副会長には武内様をお願いします。では、一言ずつご挨拶をお願いします。

(所会長)

会長に任命された所です。春特有の三寒四温で毎日気候が変わり体調を崩しやすい時期ですのでお身体にはお気をつけてお過ごし下さい。さきほど、健康増進課長が言われましたように、新型コロナウイルスの感染が拡大しています。不要不急の会議は開催しないという話が出ていますが、本日は大事な審議会であったので皆さまにお集まりいただきました。新型コロナウイルスについて様々な情報が錯綜しています。一番の予防は

人間に触れないことなので、なるべく人が居ない所にいるのが予防に有効だと思っています。我々医師は最前線で働いており、非常に危機感を持っています。中国の情報によれば、80歳以上は15%、70代は8%くらいの致死率と言われており、非常に感染性が高く病原性が強いウイルスです。中国では若い医師も何名か亡くなっています。日本でも九州の20代の看護師が重体という話です。若い人も命に関わることでくるので、十分な手洗いやうがいの徹底をお願いします。あと、感染源として心配しているのはお金です。硬貨や紙幣は誰が触っているのかが分からないので怖いのです。お金に触ったら手を洗い消毒することは基本です。電車に乗っていないのに新型コロナウイルスに感染したのはお金から感染したというルートもあるかもしれません。

本日は委員の皆さまより忌憚のないご意見をどうぞよろしくお願い致します。

(武内委員)

副会長に任命された武内です。私は歯科医師なのですが、新型コロナウイルスもインフルエンザも感染経路は口と鼻からと言われていきますので、口腔内の清潔を心がけていただきたいと思います。仮に菌が入ってもすぐに洗い流してしまえば体の中で感染や発症もなくなりますので、こまめな手洗いと共にうがいをお願いします。

我々は瑞穂市の健康のベースとなる大事な会議を任されていますので、今後とも委員の皆さまのご協力をお願いします。

(事務局)

それでは、以降の議事進行は所会長をお願いします。

4 議題

(1) アンケート調査について

(所会長)

(1) アンケート調査結果について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

アンケート調査結果について事務局より資料に基づき説明

(所会長)

ただいま事務局より説明がありましたが、ご意見やご質問はありませんか。

(武内委員)

非常に多くの質問項目がありますが、これは2つの考え方あります。ビッグデータのようにデータを蓄積しておいて、いざというときに使えるように貯めておくことと、聞けるときにいろんなことを聞いてしまおうということです。

アンケートに協力する人は、こんなに回答をしなければならないのかと、うんざりす

る気持ちもあると思います。瑞穂市として、このデータを全部活用できるのであれば市民に協力を得るのも必要なことですが、果たして、これだけ多くの設問があり市民の意見を聞いてどのように分析をするのかを疑問に思います。本当に活用するのであれば、煙草を吸う人と、口の不満と関連づけて喫煙者はこのような傾向にある、非喫煙者はこのような傾向にあるという関連付けも必要になり、組み合わせは莫大になってきます。市民にアンケートをして回答が返ってきたのはよいが、市の方が分析に四苦八苦するのでは困ります。このアンケートは必要な項目ばかりなのか、それとも一応聞いておくということなのか、事務局としてどのように考えているのでしょうか。

(ジャパンインターナショナル総合研究所)

全ての設問は次回の計画策定にあたって必要な項目です。莫大な量の質問なのですが、各項目において基本属性を「男・女」と「年齢別」でそれぞれクロス集計をかけて、それぞれの喫煙者の割合や傾向について分析をすることができます。アンケートを集計して報告書を作成するにあたり、その後の計画の策定のプロセスのなかで、このひとつひとつの設問を活用することができます。

(武内委員)

では、分析を期待しています。

(森委員)

小中学生のかた用3ページ問8の前に『問7で「食べない」と答えたかたのみへの質問です』とありますが、これは「食べた人」への設問ですよね。

(ジャパンインターナショナル総合研究所)

申し訳ありませんでした。ここは「食べないと答えたかた以外のみ」に修正をします。

(所会長)

要するに、問7で選択肢1から3までに回答した人ということですよ。

(ジャパンインターナショナル総合研究所)

そうです。

(所会長)

では、そのような書き方にした方が分かりやすいと思います。

(ジャパンインターナショナル総合研究所)

それでは、「1から3と答えたかたのみへの質問」に修正します。

(所会長)

その方が分かりやすいです。

(新井委員)

小中学生のかた用の3ページ「問5あなたは、朝ごはんを週に何日食べていますか」、
「問6あなたは、朝ごはんを家族と一緒に食べる日は、週何日ありますか」とあり、朝
ごはんのことを2回聞いています。朝は家族の時間がずれることが多く、家族団欒で食
べることは少ないと思います。問6は「朝食」ではなく、「夕食」について聞いてはど
うでしょうか。

(事務局)

市の方針として、「朝ごはん」の摂取を推しているというところと、朝ごはんの中身
を考えた時に「共食の方が、中身がいい」というところがあるので、まずは、問5で朝
ごはんの摂取率を聞き、そして、問6でプラスの要素として、共食をする頻度を聞いて
います。

補足で追加説明をしますが、16歳以上のかた用の3ページ問7の設問についてですが、
前回は「問7あなたは健康か不健康か」という表現になっていたので、「問7あなたは
現在、ご自身が健康だと思いますか」に表現を修正しました。その理由については、不
健康という言葉は聞き慣れないので、「ご自身が健康だと思うか」に修正し、選択肢に
は「そう思う・そう思わない」に修正しました。

全体的にアンケートの質問については、委員のみなさまからいただいたご意見をでき
るだけ集約させましたので、できればこのアンケートで承認していただきたいと思っ
ています。申し訳ありませんが、大きな修正等はできかねますことをご了承ください。誤
字脱字等は修正しますが、アンケートの中身については、ここで見ていただきまして、
ご承認のほどお願いします。

(所会長)

さきほど、修正するといった箇所は変えるのですよね。

(事務局)

その部分は修正します。

(所会長)

大枠としては変えないということで理解してよいですか。

(事務局)

そうです。

(所会長)

はっきりと、こうしてほしいという意見を言わない方がよいと理解しますがよろしい
ですか。

(事務局)

大変申し訳ありません。

(所会長)

大枠は変えたくないということは理解しますが、文面や言葉の言い回しの修正はどうしても必要になると思います。事務局が意見を言わないでくださいというのなら、会議をする必要がなくなります。

(事務局)

大変申し訳ありませんでした。

(所会長)

他にご意見はありませんか。事務局の意向としては、大枠は変えてほしくないということでした。そうは言うものの、アンケートを回答する人が回答しやすいようなアンケートを作らなければ意味がありません。アンケートを作った人は集中しているので大丈夫だと思ってしまうのですが、初めて読んだ人はそう思わないことはいくらでもあります。委員の皆さまから見て、どうやって回答をしてよいか分からない設問がありましたら、ご意見をお願いします。

(江崎委員)

アンケート内容を見させていただき、小中学校のほうでも取組んでいる内容が盛り込まれているので、アンケートの結果は共有しあって活用できたらいいと思います。来年度から歯の指導を進め研究をしていくということになっているので、市全体の傾向が分かるよい資料になると思います。

(所会長)

さきほど、武内委員が言われたように、アンケートを取ることは簡単です。小中学生のかた用3ページ問8・問9では甘いものや甘い飲み物について聞いていますが、その結果に対することは記載されていません。例えば、「チョコレートを食べる、チョコレートを食べたならどうなるのか」ということです。食べたことと歯の関係など、何かと結びつけば、虫歯がどれだけあるか、甘いもの飲んだらこうなりますよということをお話しないといけません。アンケートだけとって、ジュースを飲む人は何%、チョコレートは何%でただけでなく、それをどう生かしていくかが重要です。例えば、このアンケート結果を学校の養護先生に渡して、そういう地区が多い、学年が多いといったこともある程度、掴みながら、今度は改めて小学校でアンケートをとったりするなど、今後どのように生かしていくかということをお話、もう一度、事務局で考えていただきたいです。

(事務局)

今回は業者に入ってもらいましたが、中間評価を行った時には業者に入ってもらっていなかったもので、データは自分達でクロスをかけて分析をしていました。なかなか中間

評価後の修正に値するような、クロスをかけてみたのですが、特段、上げてくるようなデータがありませんでした。そのようなこともあって、いろいろ質問はかけてみるのですが、その分析した結果全てが反映させなければならないものになるのかと、ここにその全てのものを、お見せすべきかどうかを今後考えていかないと考えています。

先ほど、新井委員よりご意見があった朝食についてですが、各乳幼児健診で朝食の率を取っており、3歳児健診では97%朝食は食べているのですが、うちの管理栄養士が分析をしていくと97%朝食を食べているのですが1人で食べている子が結構いるとのことでした。朝食は食べているのですが共食ができていませんでした。中身を見ると食べているのは菓子パンだけ、パンと牛乳を出されただけとかでした。これを改善するには、「共食」を推し進めていかなければならないと感じています。朝食だけでは足りないということを、ここで詳しく説明を入れたいのですが我慢しました。そのような思いも込めて、担当が知りたい部分や現在、持っているデータの中で不確実な部分で少し裏付けがほしい部分も含めて、今回、このアンケートの中に盛り込んでいると思います。それを業者に分析してもらおう部分もありますが、中間評価のデータについても、クロスをかけてみたりしながら見ることもあります。今後は、日常の活動のなかで、振り返る作業の大元のデータベースとして使っていけるようにしていきたいです。そのような基盤作りをしたいなと思いますし、江崎委員のご意見があったように、学校でももう少し詳しいアンケートをお願いするべきなのかとか、こういう活動を依頼すべきかという部分の大元の根拠となるデータベースがほしいという担当課の思いもありますので、そのあたりも汲み取っていただき、ご意見をいただければと思っています。

(所会長)

今の事務局からの説明を聞いて疑問に思ったことがあります。小中学校のかた用3ページ「問6あなたは、朝ごはんを家族と一緒に食べる日は、週に何日ありますか」とありますが、兄弟だけで食べていても、母親だけと食べていても、父親と食べているだけでも「家族」となります。何をもち「家族」とするかが難しいと思います。

また、「共食は中身がよく、様々な物を食べることができる」、「ひとりだとしっかりと食べていない」という発想は思い込みであり間違っています。家庭の事情により、一緒に時間に食べることはできないが、しっかりと準備して出している可能性もあります。親と一緒に食べていないケースもあります。そういうことを考えるのであれば、このアンケートは違ってくる。まず、ひとりで食べていますか、それとも、どなたかと食べていますか、という問いになってくるし、何人と食べていますかという話です。親と一緒に食べているから沢山食べているというのは思い込みであって、親と一緒にでもパンだけしか食べていないかもしれません。「共食したらいい食事をしている」という思い込みが入っています。ひとりだから食べていないというわけではないでしょうし、親と食べていてもあまり食べていないかもしれない。これは大まかなことだと理解していないと、これでいろんな分析が出るということは大きな間違いであることは分かってほしいです。

(武内委員)

歯科に関する部分についてですが、クロス集計をかけて、データの分析結果について分からない部分があった時は、歯科医師会に尋ねていただければお力になることができます。データ分析の時には歯科医師会を活用していただければなんらかの意見は出せる可能性はあると思います。ぜひ活用していただければと思います。

(新井委員)

16歳以上のかた用の5ページの「問 13-1 どこで健診を受けていますか」とあり、選択肢に「1 瑞穂市国民健康保険の特定健康診査・人間ドッグ」とありますが、このアンケートは無作為抽出なので後期高齢者も対象者となっています。そうすると、後期高齢者は「瑞穂市の特定健康診査」のほうが分かりやすいのではないのでしょうか。

(事務局)

「すこやか健診」が抜けています。

(ジャパンインターナショナル総合研究所)

では、「瑞穂市の特定健康診査・人間ドッグ」に修正をさせていただきます。

(所会長)

特定健診の「すこやか健診」は入れないのですか。

(ジャパンインターナショナル総合研究所)

「すこやか健診」は入れます。

(所会長)

これは瑞穂市の前に「特定健診あるいは、すこやか健診」と入れるのか、別立てで、「特定健診・すこやか健診・人間ドッグ」とするのかどちらですか。75歳以上の人はどこに丸を付けていいのか分かるようにしたいです。

じっくり考えていくと、何を言っているのか分からない、何を聞きたいのかが分からないです。何を知りたくてこのアンケートをとるのが、なかなか分かりにくいところがあります。

(ジャパンインターナショナル総合研究所)

国民健康保険の特定健診と人間ドッグの間に、すこやか健診を入れるということで修正をさせていただきます。「国民健康保険の特定健診・すこやか健診・人間ドッグ」とさせていただきます。

(武内委員)

この「人間ドッグ」は、民間で受ける人間ドッグのことですか。

(事務局)

そうです。

(武内委員)

「民間の人間ドッグ」と「市で行っているすこやか健診」を一緒にしてよいのですか。民間で受けているのか、瑞穂市の健診で受けているのかを分ける必要があるなら、分けなければならないし、健診していることだけを知りたいだけならば一緒にしてもよいと思いますが、いかがでしょうか。

(所会長)

これはドッグといっても、市が補助金を出しているドッグですよ。

(事務局)

国民健康保険で人間ドッグの補助金が貰えるので、ここに入れました。

(所会長)

人間ドッグとはそのようなことを指しているのですか。

(事務局)

そのような意図で一緒にしました。

(所会長)

では、例えば、個人で人間ドッグを受診しに行った場合は、選択肢「3個人的に受診」になるのですね。

(事務局)

選択肢1に人間ドッグと書いてあるので選択肢3とどちらに回答してよいか迷ってしまい、紛らわしいと思っています。

(所会長)

例えば、「個人的に受診（人間ドッグ等）」にしてはどうですか。選択肢1の人間ドッグは市が補助してやっているものなので、選択肢1には括弧書きで（市の補助による人間ドッグ）と入れた方がよいのでは。

要するに、「市の関係したところで受診しているのか」、それとも「個人で受診しているのか」を知りたいのですよね。

(事務局)

そうです。しかし、アンケートを回答する人にとっては分かりにくい設問でした。

(所会長)

それでは、選択肢1は「市の補助を受けた人間ドック」、選択肢3は「個人的に受診(人間ドック等)」したほうが分かりやすいと思います。

(新井委員)

6 ページ問 14-1 の選択肢「4 配偶者の勤務先の家族健診」とありますが、これは配偶者だけしか健診を受けられないということですか。扶養者は配偶者だけでなく、子どもや障がい者が扶養されている場合があります。そのような人達は扶養されていても家族健診を受けることはできないのですか。

(事務局)

兄弟でも孫でも扶養に入っていれば家族健診は対象になります。

(所会長)

例えば、社会保険の扶養家族は兄弟や障がい者を扶養している人もいます。その人たちが健診していて回答に迷い、選択肢5その他に回答をしてしまうことを避けたいですね。

(事務局)

問 14-1 の選択肢4は家族健診を受けているかを聞きたいと考えていましたが、「配偶者の」とすると回答をする人が限られてしまうので「扶養家族の勤務先の家族健診」と修正をさせていただきます。

(所会長)

「扶養家族の勤務先」では表現がおかしいです。要するに、「社会保険を使い扶養家族が健診を受ける」ということですよ。

(事務局)

そうです。

(所会長)

どのような表現に修正しますか。

(事務局)

「被扶養者」は家族のことですが、いかがでしょうか。

全国健康保険協会のホームページを見ると健診については、被保険者(ご本人の方の健診について)、被扶養者(ご家族の方の健診について)という表現になっています。

(新井委員)

職場の健診は本人ですよ。

(事務局)

そうです。

(新井委員)

アンケートの場合はあまり考え込んで回答をしてほしくないなので、分かりやすい表現が良いと思います。家族の勤務先の健診はどうでしょうか。

(所会長)

社会保険を利用した家族健診という意味ですね。選択肢1は国民健康保険について、選択肢3は社会保険についてですね。

(事務局)

そうです。

(所会長)

誰が見ても分かるような表現で修正をお願いします。

(事務局)

では、分かりやすい表現に修正します。

(所会長)

本人と家族と分けたいのですか。事務局の意図を知りたいです。

(事務局)

個々の受診率とすこやか健診の受診率は出ますが、それ以外の市民の受診のを知りたいです。

(所会長)

この設問では何を知りたいのですか。

(事務局)

ここでは「国民健康保険以外の人々の健診の受診があるか」、「市民の健診の受診率」を知りたいと思っています。

(事務局)

行政では国民健康保険の人しか受診を把握できないので、アンケートで調査をしたいと思いました。

想像するに、国民健康保険以外の人で健診を受ける場所というのは、「職場」、「自分でお金を払って定期的にかかりつけ医、または総合ドッグへ行く」、「自分は働いて

いないけど、扶養家族の健診を受ける」の3つを上げれば、どこかに回答をいただけるかなと考えています。

これは、前回のアンケートと同じ質問項目なので、前回比をするのであれば一緒にしておいたほうがよいです。扶養者の健診受診率というのは低くなってきています。本人は受けているけど、家族は健診を受けにいていないようなので、分けたほうがよいと思います。

(新井委員)

では、表現を考えるだけなのですね。

(事務局)

分かりやすい表現に変えたいと思っています。

社会保険だと「家族健診について会社から周知されていなくて、健診を受ける機会を知らなかった」、「健診会場が遠く健診を受けられない」ということは聞いているので、その実態を知るべく分けて調査したいと思いました。

(新井委員)

受けていない人は個人的に受診のところに回答をするからということですね。

(事務局)

そうです。

(所会長)

今の事務局の説明だと、本人はほとんど健診を受けているということですね。

(事務局)

受けています。

(所会長)

健診を受けていない人はいないと思いますが、例えば、3人程の職場だと、会社はお金を出したくないのでなるべく安いところと社会保険を契約します。そうすると、健診場所が岐阜や名古屋となり遠くに行かなくてはいけないという理由で家族健診に行っていない人もいます。

他にご意見はありませんか。

(名和委員)

16歳以上のかた用の3ページ『問8 あなたが思う「健康」とはどのようなことですか』の選択肢「8寝たきりや認知症でない」とあります。寝たきりと認知症だけに限定されており、認知症に悪いイメージを持たれてしまいます。「寝たきりや・介護が必要ではない」というような表現に変えてほしいです。

(森委員)

認知症でも健康に過ごしている人もいます。選択肢8に寝たきりと認知症をひとくくりにすると、世間の人からはそのように読み取れてしまうということですね。

(ジャパンインターナショナル総合研究所)

ここは前回の調査票と同じ設問にしています。確かに選択肢「8寝たきりや認知症ではない」という表現は不適切だと思います。よって、「介護の必要ではない」と修正をさせていただきます。

(名和委員)

ありがとうございます。

(武内委員)

16歳以上のかた用の6ページから7ページ(問16から問18まで)にかけて歯科に関する設問がまとまっているのですが、7ページ『問18あなたは、「メタボリックシンドローム」を知っていますか』とあります。メタボは歯科にあまり関係ないので、別の場所にずらしたどうでしょうか。ここにメタボの設問を持ってくるのであれば、「オーラルフレイルという言葉を知っていますか」等の歯科関係の設問を入れていただくとよいと思います。

(事務局)

オーラルフレイルについての設問を入れることは難しいです。

(武内委員)

では、メタボリックシンドロームだけ外していただいたほうが歯科関係の設問だけでまとまり分かりやすいです。

(ジャパンインターナショナル総合研究所)

問18についてですが、メタボリックシンドロームについて市民の健康意識について把握したかったので、大項目3の中に入れました。歯科関係の設問と同じにならない所に移動させます。

(所会長)

では、問18は大項目4に入れてはどうですか。食生活とメタボリックシンドロームは関係しているので、おかしくないと思いますがどうでしょうか。

(ジャパンインターナショナル総合研究所)

メタボリックシンドロームは食生活に関わってきますので、大項目4に入れます。

(林委員)

大変細かく設問をしていただき有難いのですが、選択肢は「かなり意識している」、「意識している」、「ほとんど意識していない」、「まったく意識していない」となっていますが、この選択肢の文言はどのように捉えていくのですか。

8ページ「問 25 あなたは、健康のために1日に食べることが望ましい野菜の量の目安はどれくらいだと思いますか。1皿は、小鉢1個分(約70g)と考えてください」とありますが、1日に必要な野菜は350gを知らない人が多いと思います。この設問は、何も説明をせず回答をしてもらった方がよいのですか。

塩分についての設問も野菜と同じ書き方で、「問 26 あなたは、普段の食生活において、塩分のとりすぎに気をつけていますか」となっており、選択肢は「気をつけている・気をつけていない」になっています。そのような聞き方よりも、1日の塩分摂取量をgで聞いたほうが、アンケート結果から1日の塩分摂取量が分かると思います。

以前、私がアンケートを取った時には、実際350g食べてくださいよ、といっても、取っているとされるが、話を進めると、250gくらいしか取れていないとか、その意識の違いというのは随分ある。塩分でも同じです。細かいことを設問してくだり有難い反面、何が聞きたいのか分からないです。

(所会長)

全体の流れが分かっていません。「昔、このアンケートがあったからこれと同じものを出しました」と言う話を事務局より聞きますが、10年も前のアンケートと今のアンケートが変わってもよいと思います。しかし、大枠は変えてほしくないという事務局からの希望があるのであまり意見を言うことができませんが。

塩分は1日10gと言われても、どれくらい食べたら10gに値するのは我々医師ですら把握できていません。ラーメン一杯で塩分6gと言われていますが、なかなか難しいです。塩分の量は自分で気をつけているかという意識は調査することができますが、適切な摂取量の把握はなかなか難しいと思います。調理方法によって違うし、お皿1皿と言われても分かりません。

(事務局)

野菜と塩分についてですが、意識調査の部分があり「意識をして野菜を取っているのか」、「意識をして塩分を減らしているのか」ということを知りたいと思っています。

野菜についてですが、1日摂取量350gはおおよそ両手3杯となりますが、実際に食べられている野菜の形の皿をイメージしていただくために、「何皿」という表現にしました。これについては、新たに付け加えさせていただいている設問であり、他市町のアンケート調査の内容も参考にしています。野菜の1日の適正摂取量350gについては、国でも言われているので、注釈で「一日の摂取量は350g・何皿分です」と加えさせていただきます。

塩分についても、注釈で「一日の必要摂取量」を加えさせていただきます。問27の選択肢は塩分量が多い食品を書きました。「塩分を減らすように意識はしていても週2回以上取っている食品はどのようなものか」を聞きどのような傾向があるのかを知りたい

と思っています。アンケートを回答していただいたときに、1日の適量を意識していただけるような形にしていければと思っています。

(所会長)

1日に食べる望ましい野菜の量はあくまで生野菜として考えているのですね。

(事務局)

生野菜が350gです。生野菜で食べる人はなかなかいないので、加工した野菜を小皿でどれくらい食べているかを知りたいです。

(所会長)

生野菜で食べている人と茹でて食べている人では意味が違ってきます。「生野菜として350g」と書いておかないと一般の人には分かりません。

他にご意見はありませんか。

(ジャパンインターナショナル総合研究所)

本日いただいた意見を基に修正する箇所を説明します。

小中学生のかた用3ページ問8の前にある『問7で「4 食べない」と答えたかたのみへの質問です』を、『問7で「1から3」と答えたかた人への質問です』とします。

16歳以上のかた用3ページの間8選択肢8は「寝たきりや介護の必要がない」とします。

5ページの間13-1選択肢1を「瑞穂市国民健康保険の特定健康診査・すこやか健康診査・人間ドッグ（市の補助を受けた人間ドッグ）」にします。また、選択肢4については、「社会保険を利用した家族健診」、「社会保険者等の家族健診」等の分かりやすい表現に検討します。なお、6ページ問14-1も問13-1と同様に修正をさせていただきます。

7ページ『問18あなたは「メタボリックシンドローム」を知っていますか』という設問は歯科に関する質問とかぶらないように、大項目4に移動させます。

8ページ問25は注釈で一日の野菜の摂取の目安量を加えさせていただきます。9ページ問26の塩分についても同様に一日の摂取の目安量を注釈でつけ加えさせていただきます。修正する箇所は以上になります。

(所会長)

では次のその他に移ります。

(2) その他

5 閉会

(事務局)

本日は委員の皆さまには慎重審議をしていただきありがとうございました。事務局の不手際があり、また、期間が短い中で検討をしていただきありがとうございました。本日いただいた意見を反映させ修正したものを、来月の発送に向けて準備をしていききたいと思います。

なお、令和2年度第1回の健康増進計画策定委員会は6月頃を予定しています。またご案内をさせていただきます。

先ほど、委員の皆さまよりご意見があったように、今回のアンケートが単なる集計結果ではなく、今後の策定に生かすことができるように、クロス集計やデータを活用していくことが大切だと思います。

これをもちまして「第2回健康増進計画策定委員会」を閉会します。

以上